

福井大学学術研究院 医学系部門（附属病院部）
総合診療部 教授公募要項

1. 職名及び人員 教授 1名

2. 所 属 総合診療部

3. 職 務 内 容

- (1) 附属病院における総合診療部及び救急部の診療，教育及び研究
- (2) 学部・大学院における教育
- (3) 学部・大学院・附属病院の運営に関する業務（各種委員会担当及び入試業務など）

※本学医学部附属病院では，総合診療部と救急部が連携し，一次から三次までの救急患者を受け入れる ER 型救急医療体制を採用しています。当該教授には，このような診療体制を理解し，総合診療のみならず，救急医療に関する経験を有する方を求めます。

4. 求める人材像

本学学術研究院医学系部門（附属病院部）では，令和9年4月1日着任予定の総合診療部教授候補者を公募することとなりました。

標記の教授候補者には，総合診療及び救急医療の豊富な臨床経験と教育実績を有し，本学医学部附属病院の理念「最新・最適な医療を安心と信頼の下で」のもと，総合診療及び救急医療の中核として診療，教育及び研究に意欲を持って取り組まれる方を求めています。

5. 採用年月日 令和9年4月1日（予定）

6. 応 募 資 格

次の各号の条件をすべてを満たす者

- (1) 医師免許を有する者
- (2) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する者
- (3) 救急科専門医（日本専門医機構又は日本救急医学会認定）を有する者

- (4) 総合診療専門医又は総合診療特任指導医（日本専門医機構認定）を有する者が望ましい
- (5) 総合診療及び救急医療分野に関する優れた業績を有し、先進的な研究を展開できる者
- (6) 学部学生・初期研修医等に対する教育経験を有し、医学教育を推進できる者

7. 勤 務 形 態 常勤（任期制：5年）

※採用4年を経た時点で業績評価等の審査を行い、再任が認められると、
任期満了後に任期の定めのない教授となります。

8. 給 与 本学職員年俸制給与規程等に基づき、職歴等により個別に決定します。

9. 勤 務 地 福井大学松岡キャンパス（下記問い合わせ先住所参照）

10. 応 募 書 類（記入上の注意もご確認願います）

- (1) 推薦書 【別記様式1】 ※自薦の場合は省略可
- (2) 推薦者の職名、氏名、連絡先（様式適宜）※自薦の場合は省略可
- (3) 履歴書 【別記様式2】
- (4) 業績目録 【別記様式3】
- (5) 研究テーマ別・原著及び症例報告リスト（様式適宜）
- (6) 論文別刷（原著論文のみ、主要なもの10編以内）PDF等のデータにて提出
- (7) 科学研究費等の取得状況 【別記様式4】
- (8) 総合診療及び救急医療分野に関する実績と抱負・教育と研究の概要と抱負（3000字以内、様式適宜）
- (9) 候補者について、推薦者以外に照会可能な2名の職名、氏名、連絡先（様式適宜）

※別記様式は、福井大学ホームページ「採用情報」（下記URL）からダウンロードしてください。

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/teachers/

※（1）を除く応募書類については、データでも提出願います。（6）はデータのための提出で構いません。（下記事務担当のメールアドレス宛にご送付いただくか、CD等の記録メディアに保存して同封してください。なお、データは押印前のWord、Excel等のオリジナルデータをご送付ください。）

11. 問い合わせ・応募書類提出先

〒 910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 2 3 - 3

福井大学学術研究院医学系部門長 菊 田 健一郎 宛

郵送の際は、封筒に「総合診療部 応募書類在中」と朱書し、簡易書留等の発送事実が確認できる方法で送付願います。

〔 事務担当 松岡キャンパス運営管理課 人事財務担当
TEL : 0776-61-8188 e-mail : sm-jinjizaimu@ml.u-fukui.ac.jp 〕

12. 推 薦 期 限 令和8年9月24日（木） 17 : 00 必着

13. そ の 他

- (1) 選考の過程でご来学のうえ、ご講演いただく場合があります。予めご承知おきください。
- (2) 応募書類は、原則として返却いたしません。
- (3) 選考の過程で、推薦者及び照会可能な方に連絡をとる場合があります。
- (4) 応募において提出いただきました個人情報、本学個人情報の保護に関する規則の規定に基づいて適正に管理し、今回の採用選考以外の目的には使用いたしません。
- (5) 本学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。